

表2

災害時の生活機能低下の実態(2)－生活の不活発化が大きく影響

高齢者の生活機能低下の原因として、地震後の日常活動性低下(生活の不活発化)が大きく影響しており、**生活不活発病**(廃用症候群)による可能性が大きいことが示唆された。

高齢者の歩行状態の低下(新潟県中越地震:2004.10) － 影響する因子 －

	B	Odds Ratio	95.0% CI		p
性別	-0.16	0.85	0.59	~ 1.22	0.3889
年齢	0.59	1.81	1.26	~ 2.60	0.0013
要介護認定	1.00	2.73	1.63	~ 4.52	0.0001
日中活動性低下	2.11	8.26	5.55	~ 12.41	<0.0001
屋外歩行:地震前	0.50	1.65	0.92	~ 2.90	0.0890
自宅内歩行:地震前	0.68	1.98	0.86	~ 4.40	0.1002
仮設住宅入居	0.25	1.29	0.83	~ 1.98	0.2570
避難所利用	-0.01	0.99	0.69	~ 1.43	0.9749
地震後の病気・けが	0.64	1.90	1.23	~ 2.90	0.0035